

2 調査会審議経過

外交・安全保障に関する調査会

委員一覧（25名）

会 長	猪口 邦子（自民）	赤松 健（自民）	高木 真理（立憲）
理 事	岩本 剛人（自民）	朝日 健太郎（自民）	三上 えり（立憲）
理 事	松川 るい（自民）	生稲 晃子（自民）	水野 素子（立憲）
理 事	吉川 ゆうみ（自民）	上野 通子（自民）	新妻 秀規（公明）
理 事	塩村 あやか（立憲）	こやり 隆史（自民）	金子 道仁（維新）
理 事	宮崎 勝（公明）	永井 学（自民）	伊波 洋一（沖縄）
理 事	串田 誠一（維新）	長谷川 英晴（自民）	齊藤 健一郎（N党）
理 事	浜口 誠（民主）	森 まさこ（自民）	
理 事	岩渕 友（共産）	大椿 ゆうこ（立憲）	（会期終了日 現在）

（1）活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、外交・安全保障に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、第210回国会の令和4年10月3日に設置された。その後、3年間の調査テーマを「21世紀の戦争と平和と解決力～新国際秩序構築～」と決定し、鋭意調査を進めてきた。

2年目の調査については、理事会等で協議を行った結果、本調査テーマの下、「FMCT（核兵器用核分裂性物質生産禁止条約）の交渉開始への取組と課題」、「LAWs（自律型致死兵器システム）に関する国際的なルール作り及び対人地雷禁止条約の履行確保に係る取組と課題」、「武力紛争等と人道主義の実践・再構築に向けた取組と課題」、「気候変動や武力紛争等の影響を踏まえた国際的な食料・エネルギー安全保障及び人間の安全保障の確保等に向けた取組と課題」及び「気候変動が海洋法秩序に及ぼす影響への対策と取組の在り方」について調査を進めていくこととした。

（2）調査会経過

○令和5年12月13日（水）（第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 外交・安全保障に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については会長に一任することに決定した。